

第2号：SV事業とは？

2025
No.2

Pickup! ニュースレター第2号発行にあたって

梅雨も明け、例年に続く夏の暑さが本格的になってきました。一歩外に出ただけで体力が奪われる…。活動量も増えてしまう時期ですので、気をつけていかねばなりません。ニュースレター第2号、特集は「SV（スーパーバイズ）事業」についてです。SV事業は、支援機関や支援者との関わりが多い事業です。事業を通して、本人のために、たくさんの方が関わっているのだなと気づかされます。多岐にわたる取り組みの一端をまとめることができればと思います。連載コラムは、JSN新大阪アネックス主任に一筆いただきました。本人の働き続けるを支援するJSNの中において、当初から保護者支援の重要性を指摘し、ご自身の研究テーマとしても尽力されています。紙面を彩る4コマ漫画も、本特集に沿ってご作成いただきました。素敵なタッチをありがとうございます。

当初の目標通り、隔月発行が叶いました。何かと理由をつけて続かない性分としてましては、皆様のご助力あってこそでした。ご協力いただいた皆様に、この場で深く感謝申し上げます。

Challenge! SV事業について

ドナルド・トリプレットさん、カナーの11例の症例報告のうち、第一症例にあたる方です。世界で初めて自閉症としての診断を受けた彼は、2023年6月、生まれ育ったミシシッピ州フォレストの街で天寿を全うされました。当時の自閉症は精神分裂病の最早期過程という認識でしたので、予後に関しては非常にネガティブだったと考えられます。しかしながら彼は、家族や街の人たちに受け入れられ、銀行員という自身に合った職に就き、さらに晩年は、ゴルフや旅行といった趣味を謳歌する余生を過ごしたとあります。裕福な家庭に育ったという背景もありますが、一人の人として生き、周囲に受け入れられた彼の人生から、我々は多くのことを学べそうです。

JSN発達障害支援事業の「SV事業」は、本人を支える周囲の人たちへの働きかけを中心とした事業です。一つは、支援者向け研修の企画・運営・実施です。2013年から2015年の間、大阪府から委託を受け、地域の障害福祉サービス事業所等の支援力向上を目的とした研修を実施してきました。その3年間では75箇所の支援機関に訪問して支援を行いました。現在は後継として、大阪の就労支援を最前線で牽引している支援機関と連携を取りながら、「発達障がい就労支援コーディネーター派遣事業」を運営しています。JSN発達障害支援事業は事務局として関わっています。また、JSN独自サービスとしても、他の支援機関に研修をしています。新人・中間層向けの研修、標準化検査を通じたケース理解の促進、事例検討会の開催などなど。大阪を出て、兵庫県や長野県の法人とも連携をとっています。ご連携いただいていることへの感謝と合わせて、本人の今後に繋がる手立てを一緒に考えていくこと大切に尽力しています。

支援者だけでなく、本人を日々支える保護者への支援も行ってきました。「家庭できる就労支援」と題した講座の取り組みは、法人内から親の会へと広がり、自治体での実施に発展しています。発達障害のある子をもつ保護者は心理的なストレスが高いことが従来の研究より指摘されていました。しかしながら、ライフステージが上がることに保護者が活用できる資源は少なくなるのが現状です。青年期・就労期以降は、本人の自立と相まって、親としてどう関わっていくか、どの家庭でも難しい課題だと考えられます。また、発達特性を背景とした困りごとは働く上で求められる社会性に付随して、顕在化してくる時期でもあります。就労にまつわる情報提供、家庭でできる働きかけ、保護者同士のピア的なつながりなど、引き続き、保護者に対して、必要な手立てを提供できればと思います。

SV事業は、本人を取り巻く方への働きかけを中心とした事業でした。今後とも、地域の一つの資源としてご連携いただけると幸いです。

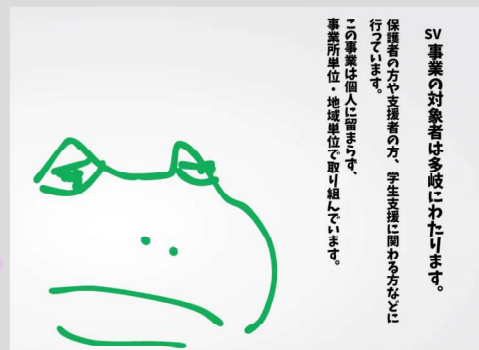
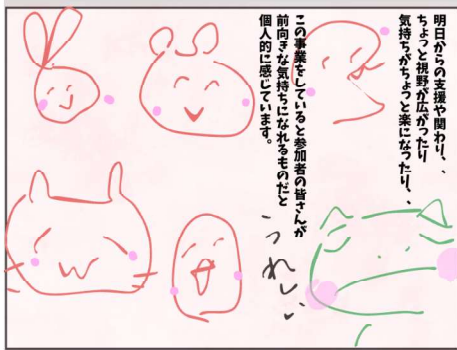
SV事業のまとめ

- ・研修の企画・運営・実施
- ・事例検討会の実施
- ・保護者支援
- ・地域支援機関との連携



パートナーシップロゴがあります。

Closeup! 4コマ漫画



編集者のコメント

素敵な4コマ漫画をもっと大きく、
見やすく掲載したいのですが、紙
面の都合上、このような掲載とな
っています。申し訳ありません。
4コマ最後は今年2025年8月実施予
定の研修チラシでした。

『発達障害のある方を対象とした
就労支援の基本と実践』と題した
現地参加50名定員の研修に対し
て、それを超えるお申し込みがあ
りました。熱意あるご参加、大変
励みになります。参加される皆様
それぞれニーズがあり、忙しい支
援の合間を縫うように調整されて
いることを想像します。現場支援
の熱を絶やさない働きかけを地域
を巻き込みながら引き続きできれ
ばと思います。

連載コラム！～事業への思い～②

JSN新大阪アネックスで、発達障害・精神障害のある方への就労支援に携わって10年になります。発達障害支援事業部を兼務していた時から、保護者講座を担当してきました。ご本人と支援者は日ごろから多く関わっていますが、その中でご家族のお話を聞くこともあります。これまで、ご家族がご本人を応援しながらも、様々な対応で苦労されていることを想像してきました。保護者講座はご家族と直接お話し、ご本人のよいところ、頑張っているところについてお話ししたり、ご家庭で困ってらっしゃることをお聞きしたりできる貴重な機会だと考えています。ご家族同士でそれぞれの悩みを共有したり、経験談を聞いたりすることで、少し心が軽くなったとお話される方もいらつしやいます。小さなつながりかもしれませんが、少しでもほっとしていただけるような時間になればとこれからも企画して参りますので、どうぞお気軽にご参加ください。

ご家族の思いを大切にしています

JSN新大阪アネックス 主任

編集部のお知らせ

編集長

編集員、酷暑の中がんばっております。今年は発達障害支援事業としても学会等に実践報告をしていきます。

副編集長

四コマを担当しました。絵心を高めたいな、と事業とは関係ないところで試行錯誤しています笑

編集者

読める文章にするのが急務です。頑張ります。

次号特集は「アセスメント事業」
を予定しています。

ニュースレターに関するご意見募集！！

ニュースレターの感想、事業に関するご質問等、些細なことでもお待ちしております。どうぞよろしくをお願いします。

<https://forms.gle/8AKQ7fLXVeT3t6mJ6>



事業ホームページはこちらから

<https://www.jsn-ddsd.net/index.php>

